

なくなっており、わずかに湿った泥に静止した♀が羽をこきざみにふるわせながら尾端をあちこち探って5分程産卵をした。少し(10cm)歩いて産卵。又少し移動して産卵をくりかえしていた。当日の日没は18:17であった。

ウスバシロチョウの採集

堀 紳 二

1985年から86年にかけて、兵庫県播磨地方各地(瀬戸内海側)で、ウスバシロチョウを採集した。採集地が100ヶ所になったので報告する。産地ごとの変異等はまだ詳しく調べていないが、大きさや斑紋に微妙な違いがあるように思われる。雌に関しては、佐用川上流(千種川水系)で黒い個体の多い産地があった。夢前川水系の産地の雌もかなり黒化していた。逆に白い雌が多かったのは揖保川上流域であった。また市川水系の産地では黄色い雌が見られた。大きさに関しては、山崎町野々住原の高原で普通の高さの個体に混じって小さな個体がかかなり飛んでいたのは興味が深かった。

<採集地>

大河内町(市川水系)	川上、上小田
生野町(〃)	栃原
夢前町(夢前川水系)	小畑、寺河内、馬頭、坂根、我孫子、佐中、熊部、河原口
安富町(揖保川水系)	栃原、大河川上流、関
新宮町(〃)	麦子口、福原、田幸
〃(千種川水系)	下筋原、上筋原、二柏野
山崎町(揖保川水系)	上ノ上、野々住原、宮の元
〃(千種川水系)	土万、八重谷峠、大沢、小茅野
一宮町(揖保川水系)	河内福田、奥福地、福地白口、草木、下千町、阿舍利、溝谷、西公文和田、小原、志倉、靴屋、富士野、黒原奥組、深河谷、池垣内
波賀町(〃)	斉木前地、下水谷、日ノ原、赤西、音水、引原、平桑、石亀、戸倉、堀、道谷、若杉峠

- 千種町（千種川水系） 黒土、岩野辺、内海、荒尾、宝の木、奥西山、川井、西河内口、天児屋、
西河内中野、戸井の元、河内中村、三室高原口
- 上月町（ ” ） 西大島、桜山、樺坂
- 三日月町（ ” ） 三原、弦谷、春哉、金山、小原、湯浅、中村、鎌倉、三日月
- 南光町（ ” ） 西下野、青木、下三河、門前、名目津輪
- 佐用町（ ” ） 淀、亀ヶ途、末包本村、末包小中山、大島王子、中山、海内上土居、高野、
海内葦畑、水根羽蔵、鴨尾、若州、奥海下村、奥海桑村、奥海奥土居
- 他に目撃のみの産地多数。

参考文献

- 山本広一（1978）兵庫県のウスバシロチョウ 昆虫と自然Vol.13 No.7
- 唐士洋一（1979）西播におけるウスバシロチョウについて てんとうむしNo.5

西宮市でウスイロコノマチョウを採集

田 中 稔

ウスイロコノマチョウ *Melanitis leda* LINNAEUS を、西宮市六軒町で採集、飼育しているので報告する。

1986年9月14日の夕方、犬と散歩中にバス停新甲陽口前の駐車場の草むらより、大型のヒカゲチョウがフワフワと飛び出した。クロコノマチョウと思い、家に走って帰りネットで採集した、裏面の眼状紋のはっきりした、ウスイロコノマチョウの♀であった。手で採ろうと追いかけていた時に、ジュズダマに産卵するような動作をしたので、飼育箱にジュズダマを鉢植にしてバナナと共に入れて飼育してみた。

9月15日、11卵を産卵

9月21日、11卵がフ化

10月11日、ジュズダマの水上げが悪いため、1匹のみ残っていた。緑色で23mm位、巣をつくる。

10月30日、蛹化

11月29日、羽化失敗、裏面は褐色の濃い枯葉状の秋型